

近衛道嗣
基氏并二
島山國清
二尊氏ノ
薨去ヲ告
ケ

一念僧衆
法事讚テ
修ス

太子堂長
老聖泉房
理趣三昧
ヲ修ス

滿中陰佛
事

地藏菩薩
像供養

南朝正平十三年 北朝廷文三年四月三十日

八一〇

是日遣狀於關東左馬頭并畠山修理權大夫入道許狀牒注裏、
(基氏)
(雲清)

大樹御事驚入候、殊更以使者令申候、他事期後信、不具謹言、

六月十二日

(近衛道嗣)
右大臣判

左馬頭殿

大樹御事驚入候、爲天下、爲家門、旁歎思給候、殊更以使者令申候、他事期後
信之狀如件、

六月十二日

判

入道修理權大夫殿

十五日、壬午、晴、傳聞、今日於等持寺、請一念僧衆等、修法事讚云々、

十六日、癸未、晴、及晡雷鳴高聲一度、今日於等持寺、請太子堂長老聖泉房、令修

理修三昧云々、
(題)

十七日、甲申、陰晴不定、時々小雨、今日等持佛事結願云々、四十九日相當明後
日、而件日不宜之間、今日結願云々、先宗門之佛事如每七、

次房仙僧正爲導師、有說導事、題名僧五口云々、今日造立地藏菩薩像被供養